



2013年10月1日 あいとぴあ 41号
 発行 相原まちづくり協議会
 責任者 理事長 土田 恭義
 所在地 町田市相原町 597-56
 電話 042 (774) 2982
 印刷 木村印刷社 042-771-9985

「相原まちづくり協議会発足 30周年を迎えて」 7代目現理事長 土田 恭義

昭和 55 年 7 月に、相原のよりよいまちづくりを目指し、相原まちづくり協議会の前身である”明日の相原を考える会”が発足しました。その後本会は発足の主旨に沿いつつより相原町全地域の活動に対処するため、発展的に解消し、相原町各町会・自治会メンバーで構成される「相原まちづくり協議会」として、昭和 58 年 9 月に新たにスタートし現在に至っております。以来 30 年、振り返って



みますと、相原中央公園、相原新駅舎、こどもセンターぱお、など少しずつではありますが相原町も確実に変貌しつつあります。これからも道路問題、高齢化・少子化問題など課題が山積する中、引続き市民の皆様とともにたゆまず活動してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



「相原まちづくり協議会」の発展を 相原地区連合町内会長 平山 富士雄

「相原まちづくり協議会発足 30 周年」おめでとうございます。この 30 年、各町会・自治会から推挙され理事を務められました皆様に敬意を表しますと共に感謝申し上げます。相原地区連合町内会においてもこの間、さまざまな課題に歴代の連合会長を中心に各会長の皆さんが挑戦してきました。一つの例として町民運動会を毎年開催して

開催して今年 10 周年を迎えますこと、相原町民はじめ各種関係団体、皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。相原の発展の為「相原地区連合町内会」・「相原まちづくり協議会」それぞれの課題に精進をして行きましょう。「相原まちづくり協議会」の益々の発展をご祈念いたしまして結びといたします。



ましたが少子高齢化が進み選手が出ない等の問題が出され、町民アンケートを行い、「相原ふれあいフェスティバル」を

30 周年記念に寄せて

相原まちづくり協議会は発足してから 30 周年を迎え、誠にありがとうございます。相原まちづくり協議会は、住民の要望に沿った「住みよいまちづくり」を実現することが目的です。当協議会は複数年度でなければ実現が難しい相原の課題に

第 6 代理事長 杉崎 太一

取り組み、実現させる為に出来ました。利便性のある住みよいインフラの整備「まちづくり」に加えて、少



子高齢化や近年希薄になりつつある地域社会の絆を高める「人づくり」の諸活動が重要性を増すと考えます。当面重要課題は、町田街道の立体化及びそれより前に東口及び西口地域の整備が 1 日も早く実現することを願っています。これからの相原まちづくり協議会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

町田市都市計画マスタープラン「地域別構想編」

町田市では、1999年6月に策定された『町田市都市計画マスタープラン』から10年が経過したことを踏まえ、地域や社会情勢の変化、市の施策の、新たな展開に対応するため、新たに改定作業に着手し、2011年6月に「全体構想編」と「実施方針編」を改定しました。そしてこの度2013年6月に「地域別構想編」を改定し公表しました。「地域別構想編」では、相原地域を含め町田市を10地域に区分し、それぞれの地域ごとに、「地域の目標」と「まちづくりの方針」を提示しています。本構想編の策定にあたっては、公募により町田市民計118名（相原まちづくり協議会理事長以下3名を

含む）が参加し約8ヶ月をかけて検討した市長宛答申案も広く反映されております。『都市計画マスタープラン』の各編につきましては、町田市のホームページでも公開しています。また、町田市市政情報課でも販売しています。（書籍1800円、分冊販売はなし）。このほか地域ごとの概要を抜粋した「地域別概要版」を堺市民センターなどでも配布していますのでご利用ください。参考までに、相原町の「地域の目標」と、「将来のまちの姿（まちづくり方針総括図）」を以下に示します。

地域の目標

- ★多くの人が大戸緑地などの豊かな自然や町田街道沿いなどの歴史・文化とふれあえるまち
- ★地域内外をはじめ、隣接市との連携や相原駅周辺のまちづくりにより、安心して快適に暮らせるまち
- ★地域のつながりや大学との交流を活かし、みんなが助け合えるまち



リニア中央新幹線の説明会



7月30日橋本駅誘致促進同盟会（会長：真田 勉）主催の説明会が開催され講師（相模原市広域交流部）中島部長から説明がありました。駅舎の建設

約750万～1000万人と見込んでいます。年度末には相模原市の開発計画が出揃います。その他として相模原補給廠の一部返還にあわせ小田急線の唐木田からの延伸を働きかけます。多摩市・町田市・相模原市・日野市・稲城市・八王子市・5市で広域交流会議をもうけています。



地は2013年9月18日にJR東海発表され、橋本駅付近に決定しました。品川～名古屋までの開通は2027年を目標にしています。駅舎はJR東海発表では地下3階 地下1階以上の部分については相模原市及び民間が使用予定です。利用対象人口は

圏央道首都圏中央連絡自動車道 平成27年に全線開通します



町田市立公園駐車場 平日無料へ
2013年8月1日より、指定管理者が運営している5ヶ所の公園駐車場を平日無料としました。相原中央公園 野津田公園 小野路公園 日向山公園 鶴間公園 イベント時は有料となります。



相原まちづくり協議会は、11町会 自治会から推薦された理事・監査で運営されています

相原駅西口広場と接続道路の工事状況



る道路が開通しました。現在、駅前広場への接続

今年6月1日に町田街道、八千代銀行前交差点より諏訪神社参道に貫ける

道路および周辺の道路の上水道、下水道の整備がほぼ終了しました。この後、雨水管の敷設や電力・通信ケーブルの地中化工事が始まると思います。まだ朝夕の駅へのアクセスは不便な状況が続くのではと予想されます。町田市では平成27年度末に駅前広場を含む道路の完成を目指していますが出来るだけ早く歩行者と車のアクセスが安全に確保出来るような方法を考えて実施してくれるよう要望しています。

相原遺産 高座川と田倉川

高座豚はブランド肉として有名ですが、名前の由来は明治・大正・昭和にかけて高座郡で盛んに生産されたからです。この頃の高座郡は、相模川と境川に挟まれた広大な地域でした。高座郡は火山灰の地質と相模川が非常に低地を流れているため稲作には向きませんでした。サツマイモやジャガイモの生産が盛んに行われ、それを飼料として豚の生産が盛んだったのです。そういえば丸山団地の北側に養豚場跡があり獣魂碑が祀られています。高座郡は今では寒川町のみとなりましたが、相模原市も高座郡でした。平安期にも高座の地名は存在しました。1594年秀吉亡き後の太閤検地で武蔵の国と相模の国の境を高座川とし、川の名前も



相原八幡本殿裏にある高座川の碑

いつしか堺川と呼ばれるようになりました。ただそれには相当な時間が掛かったようです。その証拠が中村の旧家宮崎さんの庭先で見つかりました。水神社の石碑が見つかりそこには「武蔵国住田倉川邊宮崎・・・」とあります。また他の面には「天保十年亥正月吉日」とありますから1839年1月にこの塔が祀られたこととなります。そのころはまだ田倉川（相原ではタクラガワ）と呼ばれていたようです。境川が定着したのは明治以降のことかもしれません。



宮崎邸の水神社

平成25年度	相原地区連合町内会役員	
会長	平山富士雄	武蔵岡
会長代行	井川光夫	大戸
副会長会計	木下博明	丸山
副会長会計	江田龍巳	丸山団地
副会長監査	青木 宏之	中町
副会長監査	寺田年延	陽田
副会長庶務	石光万亀男	境
副会長庶務	青木洋一	坂下
副会長庶務	山岸満男	元橋
副会長庶務	宮崎政明	中村
副会長庶務	井上正行	中相原

平成25年度相原まちづくり協議会理事		
境町会	渡辺展亨	
	栗原雄二	
坂下町会	平野功二	
	岡田賢	
元橋町会	土田恭義	理事長
	竹牟礼講一	
仲町町会	諏訪賢一	副理事長
	宮高勇二	
場田町会	原弘明	総務
	井上勝利	
中村町会	小林 洋	会計
	藤森宣雄	
丸山町会	脇尚二	
	峰雅通	
丸山団地自治会	守屋松則	副理事長
	松坂隆	
中相原町会	古谷雄二	総務
	吉川昱	
式蔵岡自治会	井上通泰	
	渡代真知子	
大戸町会	前田慶司	
	長谷川順	

夕焼け小焼け誕生から100周年2019年に向けて

中村雨紅の童謡夕焼け小焼けの発表は大正8年(22歳)で相原町に戸籍のある時でした。

相原まちづくり協議会は、11町会 自治会から推薦された理事・監査で運営されています